



学園・家庭・地域から信頼される、魅力ある学校づくり
次世代型しろ特 ～対話と創造+～

【学校教育目標】

児童生徒一人一人が、自立と社会参加をめざして、その個性・能力を調和的に高めていくための主体的な行動力を身に付ける。

〈校訓〉友情 笑顔 元気

- 1 よく学び、よく考えて、ものごとを自分で選んだり、決めたりすることができる。
- 2 心身ともに健康で明るい生活ができる。
- 3 自分のことを一人で行えるようになるとともに、必要な援助を適切に求めることができる。
- 4 他者のことも考えて、望ましい人間関係をつくることができる。
- 5 仕事の大切さを知り、誇りをもって働くことができる。
- 6 個性や能力を発揮し、表現して、楽しく心豊かな生活をするすることができる。

《小学部》

- 身のまわりのことができる子
- 友達と仲良くできる子
- すすんで活動に取り組める子

《中学部》

- 身のまわりのことをきちんとできる生徒
- みんなと協力できる生徒
- 何事にも進んで取り組める生徒

《高等部》

- 日常の生活習慣を身に付けた生徒
- 決まりを守りみんなと協力できる生徒
- 社会生活に必要な力をつけられる生徒

- 国・県の方針
- ・学習指導要領
 - ・群馬県教育振興基本計画
 - ・群馬県教育委員会運営方針
 - ・第3期群馬県特別支援教育推進計画
 - ・学校教育の指針
 - ・指導の重点

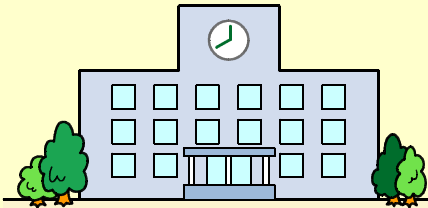
学園・家庭・地域からの期待

- ・しらがね学園との連携・協力による教育成果の向上
- 「教育と福祉の連携」
- ・一人一人の的確な実態把握に基づくニーズに応じた教育
- ・専門性の高い特別支援教育
- ・将来の自立や社会参加に向けた一人一人の成長
- ・特別支援教育に係る相談支援の充実

《目指す学校像》

小・中・高12年間の一貫した、きめ細かくていねいな教育をとおして、
一人一人の個性・能力を調和的に高めていける魅力ある学校

- ・一人一人の的確な実態把握に基づくニーズに応じた教育
- ・健康教育を基盤とした安全・安心な学校
- ・将来の自立や社会参加に向けた系統的なキャリア教育
- ・「教育と福祉の連携」=関係機関との連携の強化、支援体制の充実
- ・いじめを許さず、やさしさのあふれる、みんなの笑顔が輝く学校



《目指す教職員像》

チームしろ特「ホワイトメタルズ」

あたたかく、思いやりにあふれ、風通しのよい働きやすいチーム
自ら考え、声をかけ合いながら、笑顔ではつらつと動けるチーム

- ・すべての教員が高い専門性を発揮できるように学び合う～OJT、しらがねとカフェ、研修履歴～
- ・心理的安全性を高める①話しやすさ「何を言っても大丈夫」、②助け合い「困ったときはお互いさま」③挑戦「とりあえずやってみよう」、④新奇歓迎「異能、どんと来い」
- ・幸せの4因子 A「やってみよう!」因子(自己実現と成長)、B「ありがとう!」因子(つながりと感謝) C「なんとかなる!」因子(前向きと楽観)、D「あなたらしく!」因子(独立とマイペース)
- ・日常的に気軽に授業づくりや業務に関わる対話ができる職員室・事務室・保健室の受容的な雰囲気
- ・接遇(来校して気持ちのよい学校。気持ちのよい応対・電話応対。傾聴の姿勢。)
- ・服務規律の確保(個人情報保護、交通事故・違反の根絶、体罰などのない適切な指導、適切な金銭管理等)



友 情		笑 顔	元 気
○みんなの笑顔が輝く学校 ・教職員の人権感覚の向上 ・だれもが笑顔で気持ちよく過ごせる ・SOSを発信しやすい環境 ○交流及び共同学習の充実 ・互いに豊かな心を育み、多様化への理解を図る交流及び共同学習の推進 ・適切な指導計画の立案と実施、評価		○できた喜びが積み重なる教育活動 ・的確な実態把握(ICF、ABC分析等) ・単元(題材)構想の充実 ・指導と評価の一体化、PDCA ・ICTを活用した指導・支援の充実 ・個別的教育支援計画・指導計画の活用推進 ・小中高12年間の学びをつなげる ・文化・芸術に触れる活動の充実(生涯学習へ)	○健康教育の推進、安心・安全な学校 ・ヒヤリハットの共有・蓄積による危機意識の強化 ・感染症対策と新しい生活様式 ・学園や家庭との密なる連携(食事、体調等) ・環境整備(5S:整理・整頓・清掃・清潔・躰) ・防災意識、危険予知能力、危険回避能力 ・児童生徒の少しの変化も見逃さないあたたかな教師の眼(普段との違和感、アンテナの高さ)
地域に開かれた学校・地域と共にある学校		教職員の多忙化解消	
○将来の自立と社会参加に向けたキャリア教育の充実 ・卒業後の姿を意識した小中高12年間の一貫した指導(付けたい力の明確化～暮らす・働く・動く・楽しむ～) ・しらがねデュアルの充実 ・作業製品のブランド化、地域への発信 ○学園・家庭・地域との連携・発信 ・HPやメールシステムなどによる素早い発信 ・「通いたい」「通わせたい」「通わせてよかった」と思っていただけの学校 ○センター的機能の充実 ・中毛地区の保育園、幼稚園、小中学校、高等学校への助言・援助		○働き方改革 ～ひとりて悩まない～ ・心と身体の健康第一(笑顔で子どもたちの前に立つ。) ・自身の働き方に係る自己分析と改善 ・ひとりて抱え込まない風土(困ったときはすぐに相談) ・いつでも助け合える風通しのよい職場環境 ○業務改善 ～目指せ!効率化～ ・「きれいな職場」=5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰) ・デジタル化による校務の効率化 ・既存業務の思い切ったスクラップ・統合 ・学部を超えた連携・協力体制の構築	